

[別 紙]

## イ号物件目録

### 1. 図面の簡単な説明

- 図 1 上型 1 を下型 2 の上方に待機させ、ワーク A を下側支持型枠 2 1 上に載置した状態図。
- 図 2 上側支持型枠 1 1 とスライダー衝合体 5 が下降し、上側支持型枠 1 1 がワーク A の上面に圧接した状態図。
- 図 3 スライダー衝合体 5 が下降し、その下面がリンクカム 3 のスライド板 3 6 に接触した後、リンクカム 3 のスライド板 3 6 を下方に押圧することでリンクカム 3 を回動させ、上側支持型枠 1 1 、下側支持型枠 2 1 及びリンクカムの先端 3 3 の 3 者によりワーク A を挟持した状態図。
- 図 4 スライダー衝合体 5 の成形雄型 5 1 とリンクカムの先端 3 3 で、ワーク A を寄せ曲げ成形した状態図。
- 図 5 上型 1 が上昇し、寄せ曲げされたワーク A を、下型 2 より取り出せるようにした状態図。
- 図 6 下型分解説明図

### (符号の説明)

A ワーク	1 2 成形雌型構成部
1 上型	1 3 カムドライバー
2 下型	1 4 スプリング
3 リンクカム	2 1 下側支持型枠
4 リンク駆動カム	2 5 スプリング
5 スライダー衝合体	3 1 リンクカムの支軸

6	リンクカムの尾端支持昇降軸	3 3	リンクカムの先端
1 1	上側支持型枠	3 5	リンクカムの尾端
3 6	スライド板	5 1	成形雄型
5 2	スライド台	2 2	挿入孔
C	蓋部材	2 3	軸受け

## 2. 構成の説明

(1) 上型1は、下型2の上方に昇降自在に配置され、上側支持型枠1 1とスライダー衝合体5とが設けられている。スプリング1 4を介して上型1に支持された上側支持型枠1 1は、下降時にワークAを圧接すべく下側支持型枠2 1の上方に位置している。スライド台5 2を介して上型1に支持されたスライダー衝合体5は、下降時にリンクカム3のスライド板3 6上をリンクカムの先端3 3に向かってスライドすべく、リンクカム3の上方に位置している。

スライダー衝合体5の先端には成形雄型5 1が固定されており、成形雄型5 1はスライダー衝合体5がリンクカムの先端3 3に向かってスライドした際にワークAを押圧するものである。

(2) 下型2には、下側支持型枠2 1と軸受け2 3とが設けられている。下側支持型枠2 1は下型2の上部に固定されており、上側支持型枠1 1と共にワークAを挟持するものである。軸受け2 3は下型2に固定されており、リンクカム3の両側端に設けられた円柱状の支軸3 1を挿入するための円弧面を有する挿入孔2 2が穿孔されている。この軸受け2 3に穿孔された挿入孔2 2に、円柱状の支軸3 1が回動自在に挿入されている。

リンクカム3の先端3 3は、上側支持型枠1 1及び下側支持型枠2 1と共にワークAを固定し、且つ成形雄型5 1と共同してワークAの成形を行うものである。

## 3. 動作の説明

(1) ワークAを下側支持型枠21上に載置した後上型1が下降して、上側支持型枠11がワークAの上面を圧接する。上側支持型枠11がワークAを押圧した後も上型1とスライダー衝合体5は下降し、スライダー衝合体5の下面がリンクカム3のスライド板36に当接し下方に押圧するため、リンクカム3は支軸31を中心に回動する。リンクカム3の回動により、リンクカムの先端33と下側支持型枠21とが連続したピラー保持面を形成し、上側支持型枠11、下側支持型枠21及びリンクカムの先端33の3者によりワークAは挟持される。

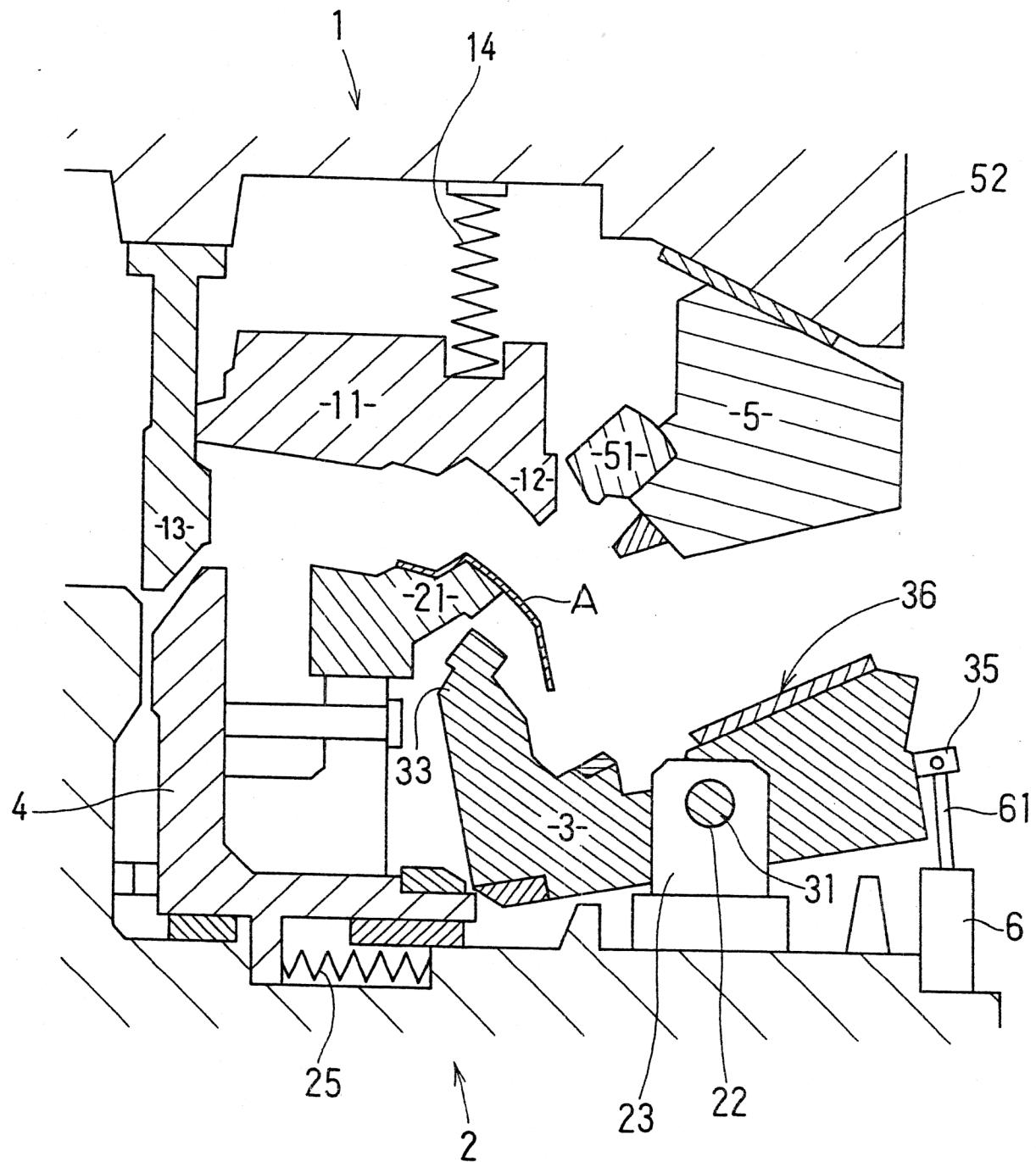
さらに上型1が下降すると、スライダー衝合体5はリンクカム3のスライド板36上をリンクカムの先端33の方向へスライドする。

スライダー衝合体5がリンクカムの先端33の方向へスライドすることで、スライダー衝合体5に固定された成形雄型51が、ワークAをリンクカムの先端33へ押し付けて成形を行う。

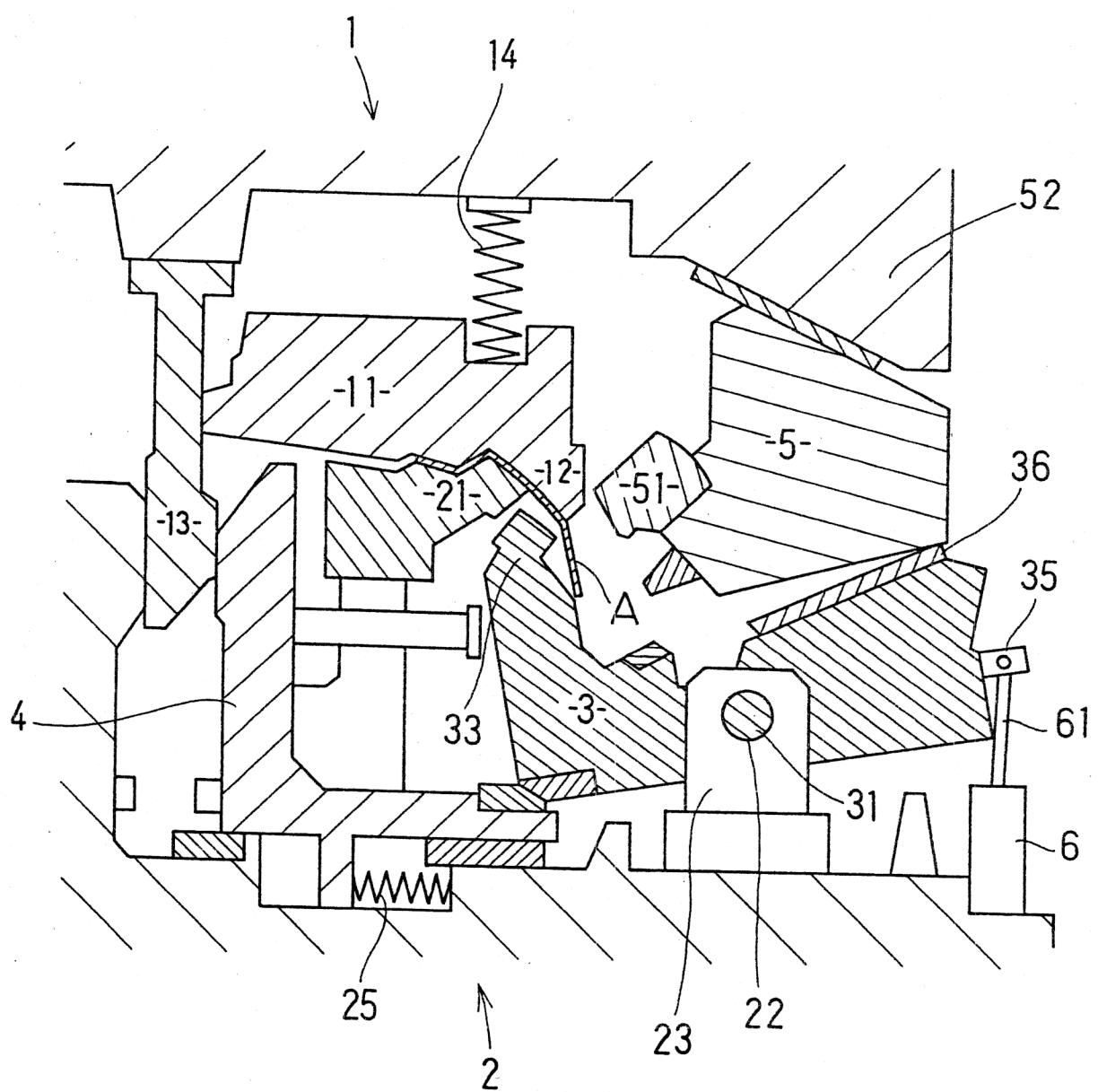
(2) 成形が終わり上型1が上昇し始めると、上型1によるリンクカム3及び下側支持型枠21への押圧が徐々に開放され、まず、スライダー衝合体5が後退スライドすることで成形雄型51がワークAから離れ、追ってスライダー衝合体5がリンクカム3のスライド板36上を離れ、リンクカム3が回動してリンクカムの先端33がワークAから離れる。更に上型1が上昇したとき、上側支持型枠11が下側支持型枠21上のワークAから離れる。このようにして、ワークAは、下側支持型枠21、リンクカムの先端33及び上側支持型枠11の3者による挟持から開放される。この状態でワークAは取り出される。

以上

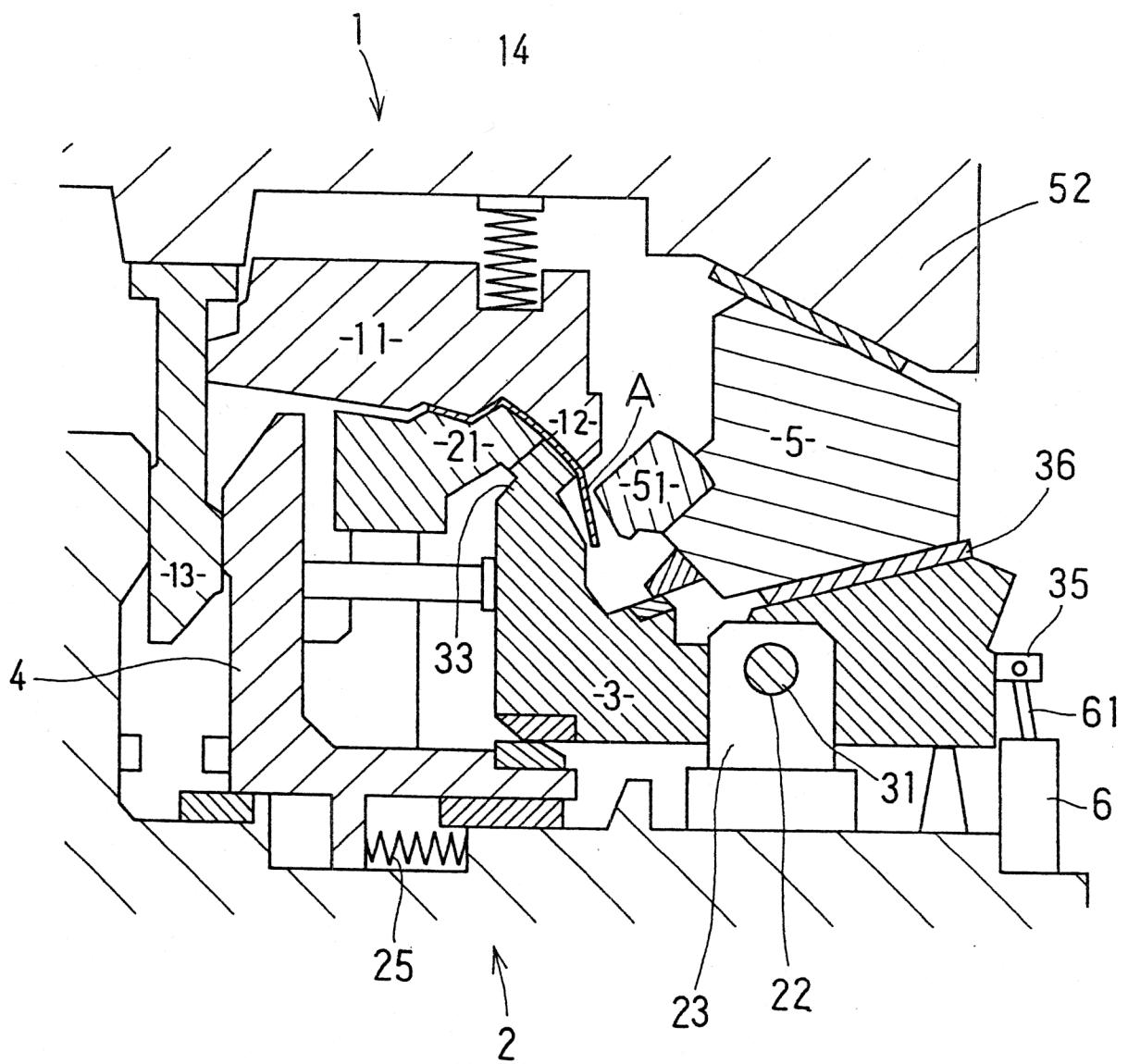
【 図 1 】



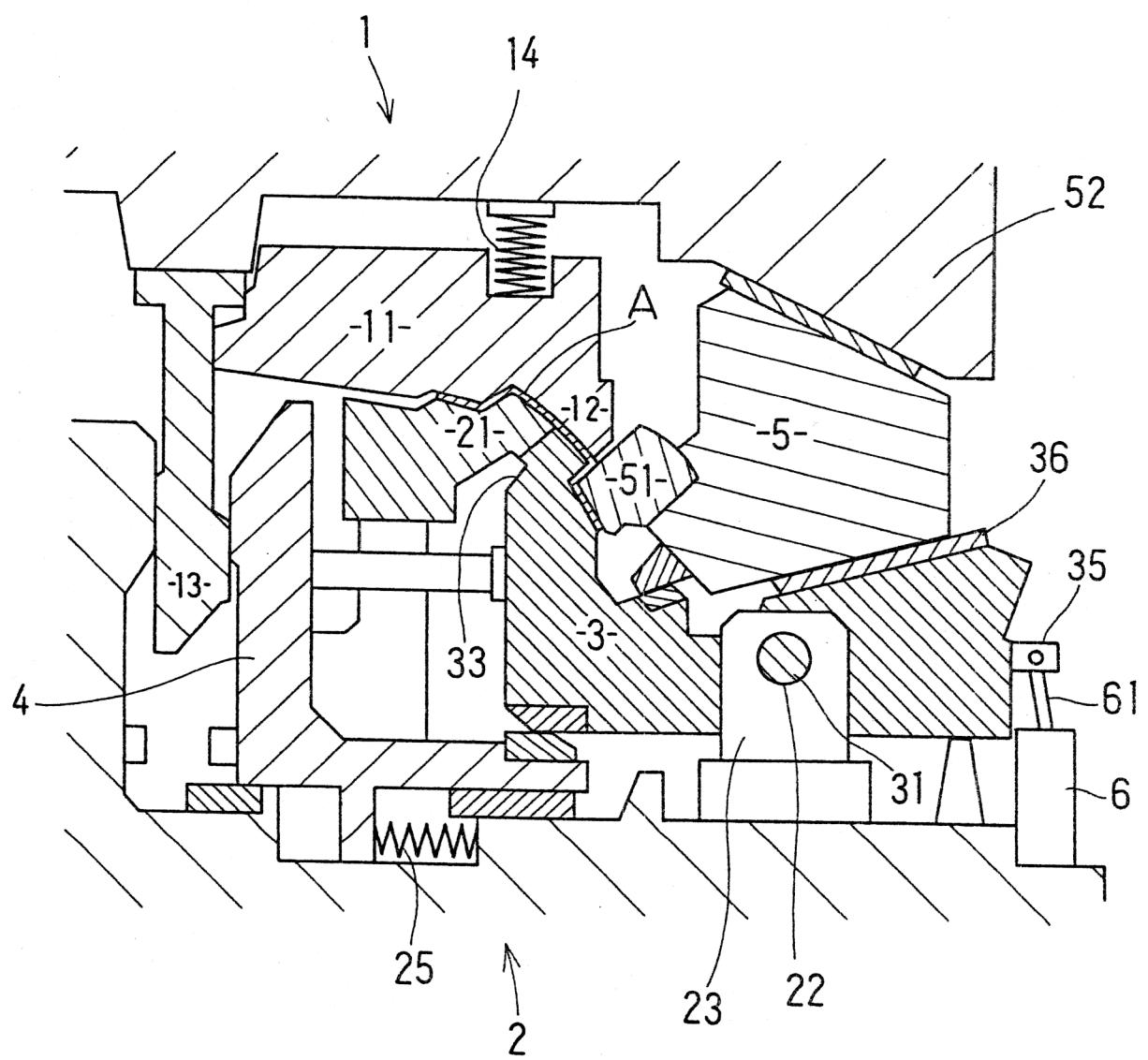
【 図 2 】



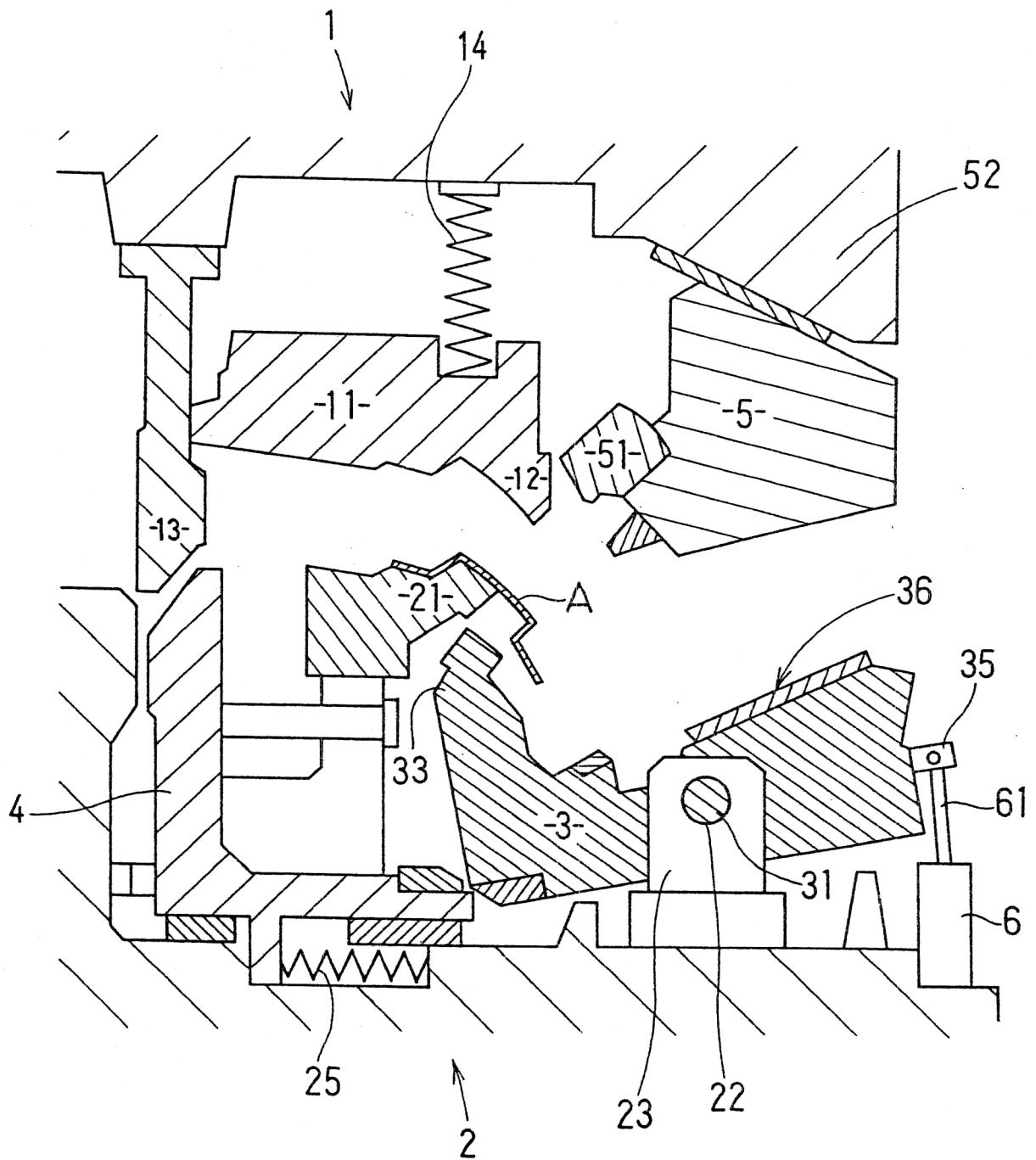
【 図 3 】



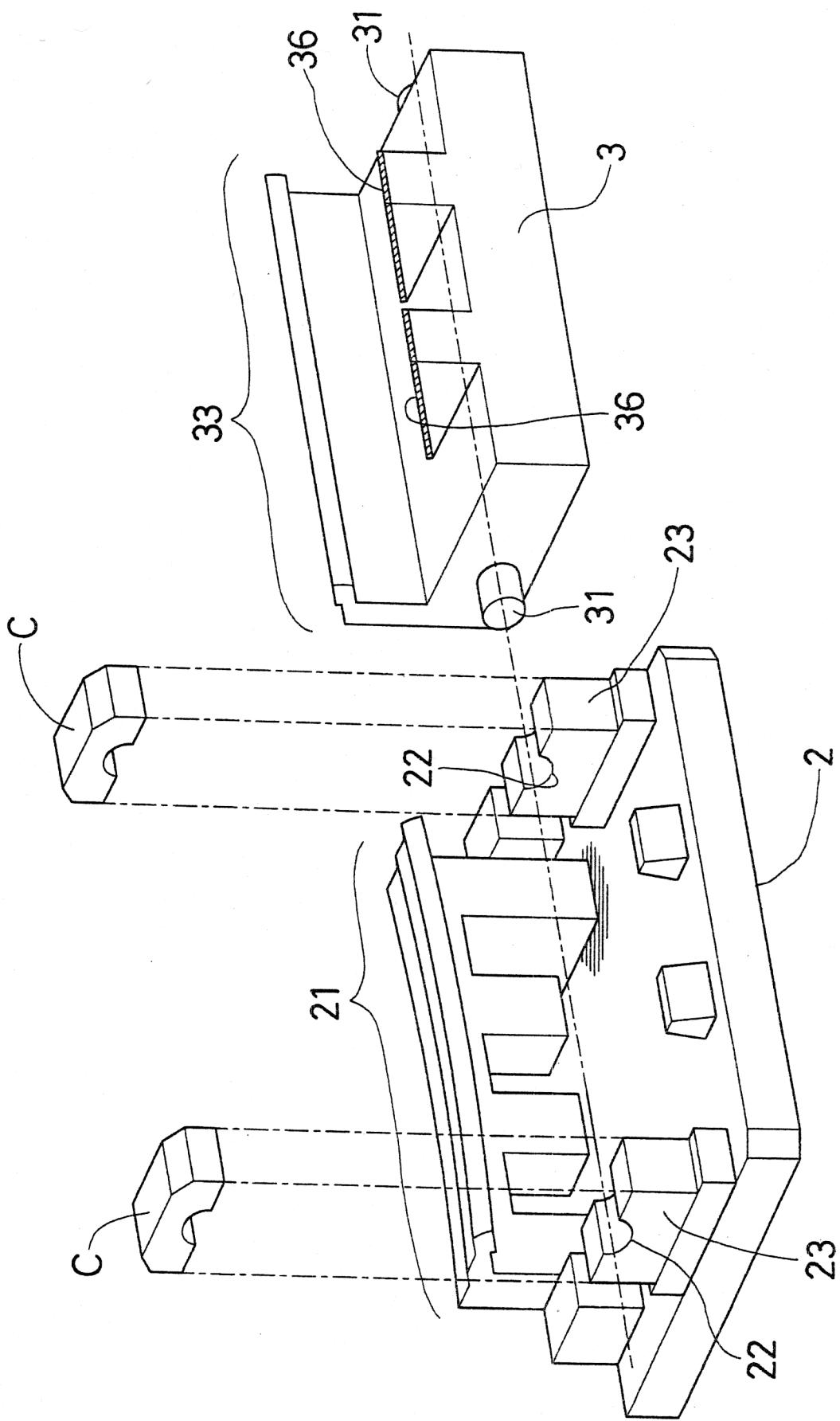
【 図 4 】



【 図 5 】



【 図 6 】



[別 紙]

## ロ 号 物 件 目 錄

(ロータリーカム)

### 1. 図面の簡単な説明

- 図 1 ワーク A を保持部 2 1 上に載置した状態図。
- 図 2 パッド 1 1、保持部 2 1 及び回転カム 2 4 の寄曲げ部 2 3 の 3 者によりワーク A が挟持された状態図。
- 図 3 寄曲げ刃 1 5 がワーク A を寄曲げ部 2 3 へ押し付けて成形を行っている状態図。
- 図 4 上型 1 が上昇し、成形されたワーク A を下型 2 から取り出す状態図。

### (符号の説明)

A ワーク	2 1 保持部
1 上型	2 2 カム溝
1 1 パッド	2 3 寄曲げ部
1 2 吊りカム	2 4 回転カム
1 3 スプリング	2 5 スライド板
1 4 スライド台	2 6 カムリフター
1 5 寄曲げ刃	2 7 スプリング
2 下型	

### 2. 構成の説明

- (1) 上型 1 は、下型 2 の上方に昇降自在に配置され、パッド 1 1 と吊りカム 1 2 とが設けられている。スプリング 1 3 を介して上型 1 に支持されたパッド 1 1 は、下降時にワーク A を圧接すべく保持部 2 1 の上方に位置している。

スライド台14を介して上型1に支持された吊りカム12は、下降時に回転カム24に設けられたスライド板25上を寄曲げ部23に向かってスライドすべく、回転カム24の上方に位置している。

吊りカム12の先端には寄曲げ刃15が固定されており、寄曲げ刃15は吊りカム12が回転カム24の寄曲げ部23に向かってスライドした際にワークAを押圧するものである。

(2) 下型2は、上面にワークAを保持するための保持部21が形成されており、その内方には保持部21に連なる円弧面からなるカム溝22が設けてある。保持部21に連なるカム溝22には、一部を略L字状に切り欠いた回転カム24が回動自在に挿入されている。回転カム24の一端には吊りカム12の下面と接触するスライド板25が設けられ、他端には寄曲げ部23が形成されている。回転カム24の寄曲げ部23は、パッド11および保持部21と共同してワークAを固定し、且つ寄曲げ刃15と共にワークAの成形を行うものである。回転カム24は下型2のカムリフター26と連結しており、カムリフター26に従動する。

### 3. 動作の説明

(1) ワークAを保持部21上に載置した後(図1)上型1が下降して、パッド11がワークAの上面を圧接する。パッド11がワークAを押圧した後も上型1と吊りカム12は下降し、吊りカム12の下面が回転カム24のスライド板25に当接し下方に押圧して、回転カム24は回動する。回転カム24の回動により、回転カム24の寄曲げ部23と保持部21が連続したピラー保持部を形成し、パッド11、保持部21及び回転カム24の寄曲げ部23の3者によりワークAは挟持される(図2)。

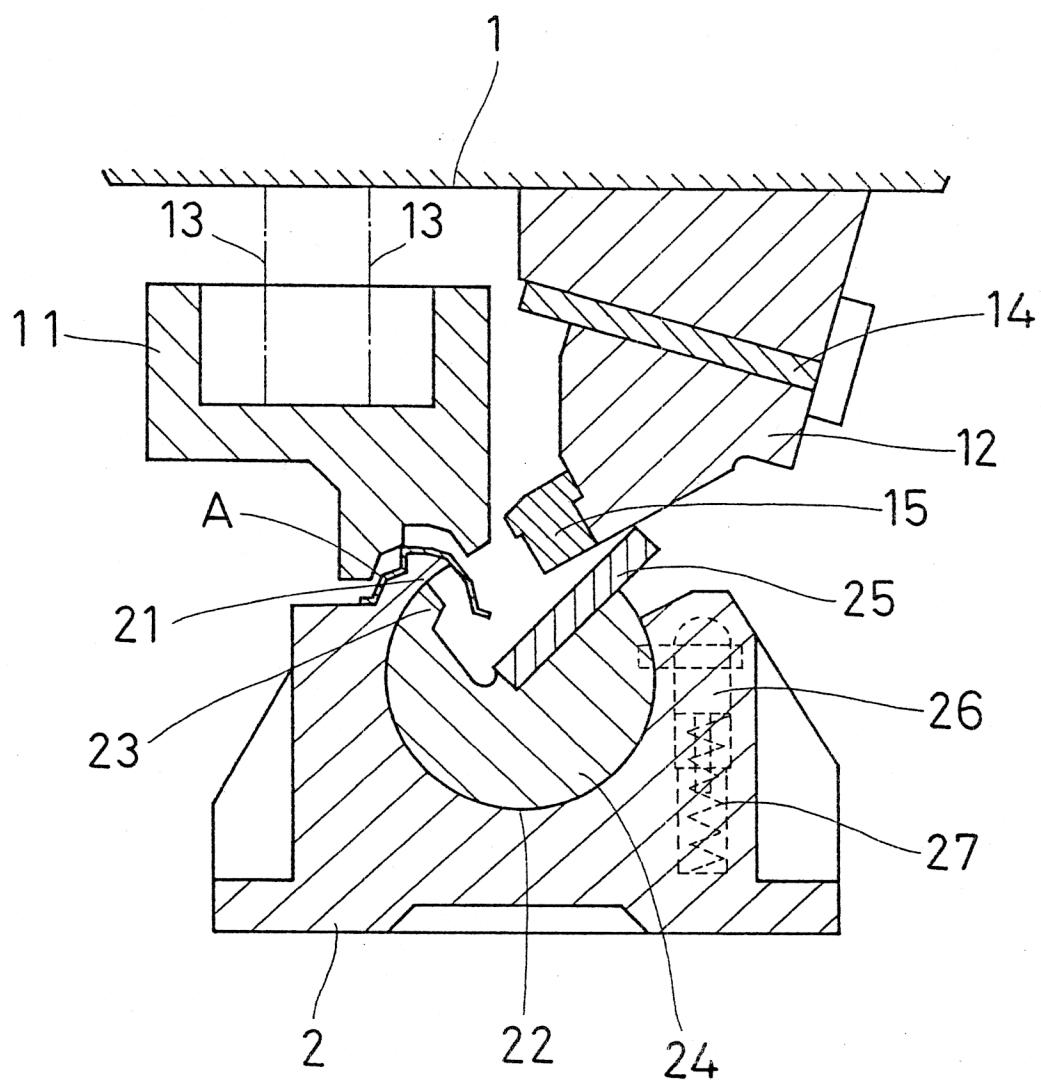
さらに上型1が下降すると、吊りカム12は回転カム24のスライド板25上を寄曲げ部23の方向へスライドする。吊りカム12が寄曲げ部23の

方向へスライドすることで、吊りカム12の先端に固定された寄曲げ刃15が、ワークAを寄曲げ部23へ押し付けて成形を行う（図3）。

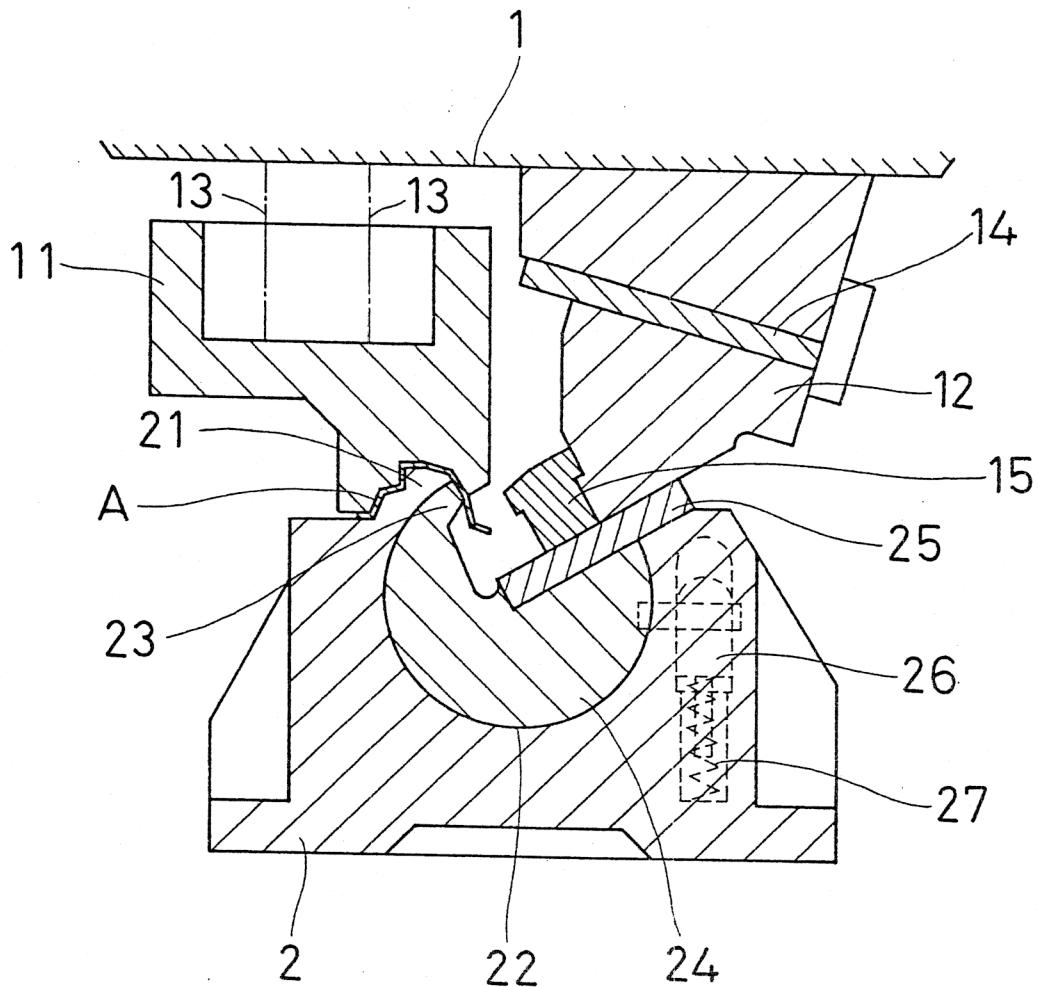
(2) 成形が終わり上型1が上昇し始めると、上型1による回転カム24及び保持部21への押圧が徐々に開放され、まず、吊りカム12が後退スライドすることで寄曲げ刃15がワークAから離れ、追って吊りカム12が回転カム24のスライド板25上を離れる。これに従いカムリフター26が上方へ移動し回転カム24が回動して寄曲げ部23がワークAから離れる。更に上型1が上昇したとき、パッド11が保持部21上のワークAから離れる（図4）。このようにして、ワークAは、保持部21、回転カム24の寄せ曲げ部23及びパッド11の3者による挟持から開放される。この状態でワークAは取り出される。

以上

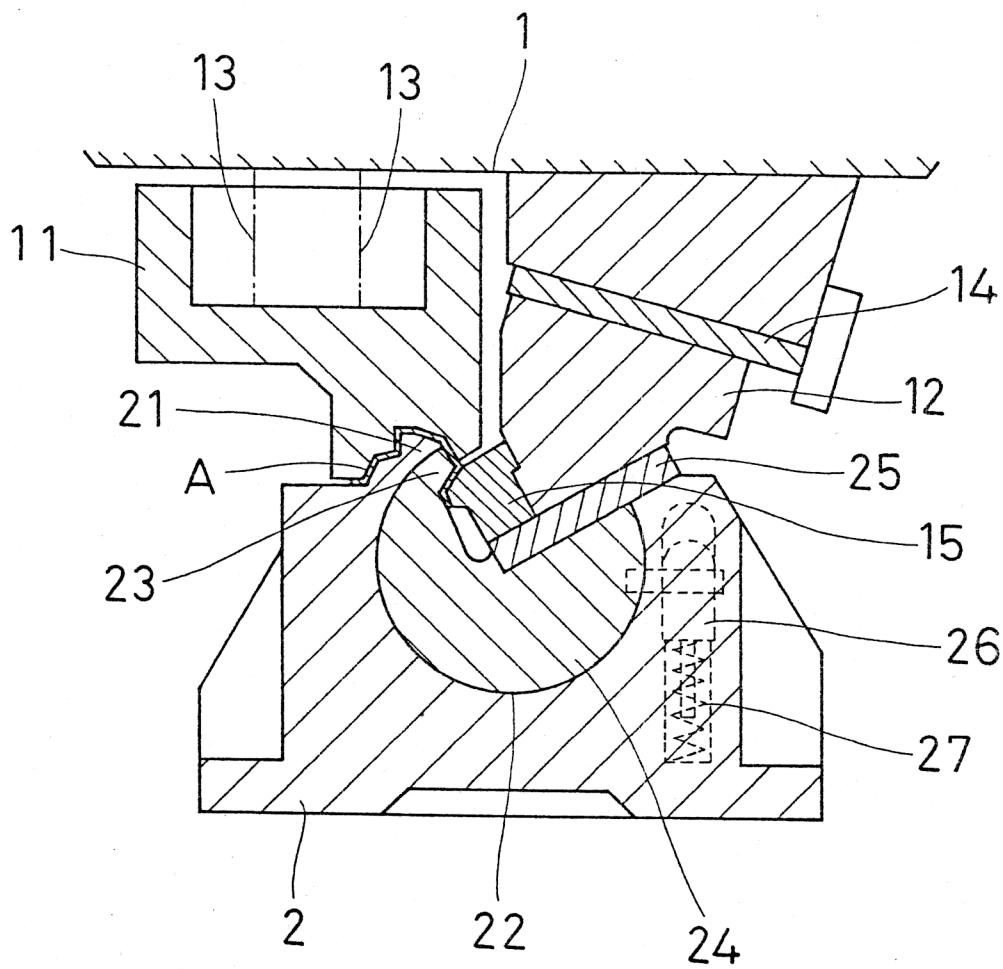
【 図 1 】



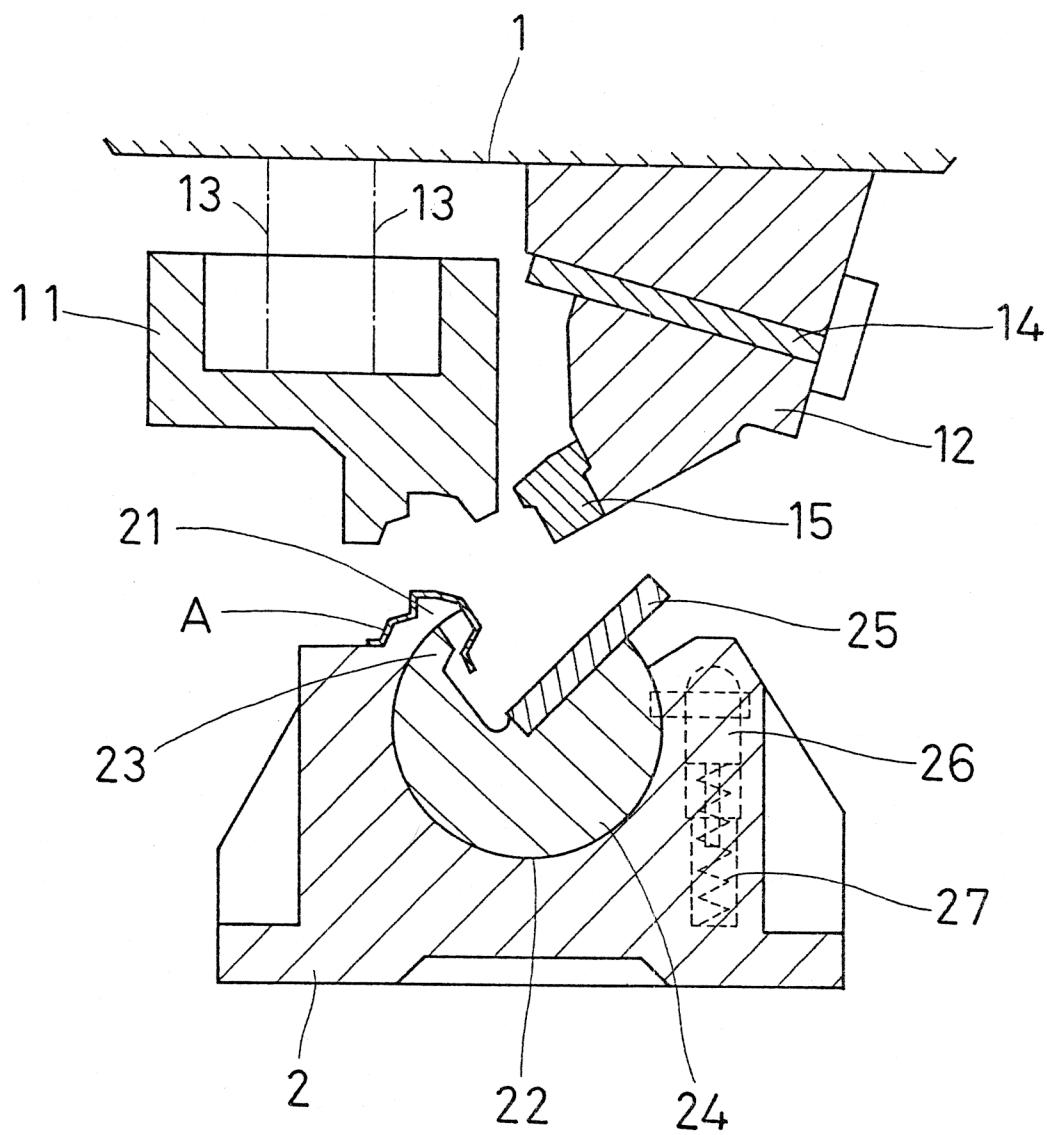
【 図 2 】



【図3】



【 図 4 】



[別 紙]

## イ号製品目録

### 1. 名 称 シーソーカムベンド成形装置

### 2. 図面の簡単な説明

図はイ号物件の上型、下型の各ホルダー内に各作動部材を組み付けた状態の全体側面によりベンド作動工程を示すものである。

第1図 下側支持型枠21上にワークAを載置した状態

第2図 カムドライバー13の下降により、リンク駆動カム4の先端に固定されたドエリングプレート42とリンクカム3の下端部に固定されたドエリングプレート32が衝合し、リンク駆動カム4がリンクカム3の先端を持ち上げ、更に、リンクカム3はアーム43によって支持される。これによりリンクカム3の先端33が上昇して下側支持型枠21の先端と衝合し、更に、上側支持型枠11の下面が衝合して成形雌型Bを構成し、ワークAを挟持した状態

第3図 先端に成形雄型51を装着したスライダー衝合体5が下降して衝合体案内基台54と着合した状態

第4図 上型1の下降によりスライダー衝合体5がウエアプレート52に案内されて成形雌型Bに対して斜側方から下降して先端の成形雄型51が成形雌型Bと衝合してワークAをベンド成形した状態

第5図 上型1が上昇してカムドライバー13、上側支持型枠11、スライダー衝合体5が上昇復帰し、リンク駆動カム4がスプリング25により後退してアーム43による支持が解除されてリンクカム3の先端が自重により下降して第1図の状態に復帰した状態

第6図 下型2の分解説明斜視図

第7図 リンクカム3の斜視図

第8図 リンク駆動カム4とカムドライバー13の関係を示す分解説明斜視図

(符号の説明)

1—上型 11—上側支持型枠 12—上側支持型枠の成形雌型構成部 13—カムドライバー  
14—リテーナ 2—下型 21—下側支持型枠 23—リンクカムの支軸受け 25—  
スプリング 3—リンクカム 31—リンクカムの支軸 32—リンクカムの下端ドエリン  
グプレート 33—リンクカムの先端 35—リンクカムの尾端 4—リンク駆動カム  
42—ドエリングプレート 43—リンク駆動カムのアーム 5—スライダー衝合体 51—  
成形雄型 52—ウェアプレート 54—衝合体案内基台 6—リンクカムの尾端支持昇降  
軸 61—リンクカムの尾端支持昇降軸の案内筒 A—ワーク B—成形雌型

### 3. 構造の説明

下型2はボルスター基盤に固定され、そのホルダーには、カムドライバー13と衝合して進退し、リンクカム3の先端33を昇降するリンク駆動カム4と支軸31を支点としてシーソー作動するリンクカム3が組み付けられ、ワークAを下側から支持する下側支持型枠21とスライダー衝合体5を案内するウェアプレート52を付設した衝合体案内基台54が固定されている。下型2に対して昇降する上型1のホルダーには、カムドライバー13を固定し、上側支持型枠11を下降方向に付勢してリテーナ14で支持し、スライダー衝合体5を斜上昇方向に付勢して組み付けている。

### 4. 作用及び効果の説明

上型1を上昇させて下側支持型枠21上にワークAを載置して上型1を下降させると、カムドライバー13が下降し衝合面のカム作動によってリンク駆動カム4が前進し、先端に固定されたドエリングプレート42とリンクカム3の下端部に固定されたドエリングプレート32が衝合し、リンクカム3の下端を持ち上げ先端33を上昇させて下側支持型枠2

1の先端と衝合し、更に、上側支持型枠11の下面が衝合して合成成形雌型Bを構成し、ワークAを挟持する。

更に、上型1を下降させ先端に成形雄型51を装着したスライダー衝合体5を下降して衝合体案内基台54のウェアプレート52と着合させ、ウェアプレート52の案内によって成形雌型Bに対して斜側方から下降して先端の成形雄型51が成形雌型Bと衝合してワークAをベンド成形し、上型1を上昇させてワークAを取り出すものである。

成形型形成端とワーク支持機構とが衝合してワークAを挟持する成形雌型Bを形成するのでワーク加工の位置決めを安定させることができ、作動エネルギーが梃子の原理によって活用され、成形圧が高められる。

以上

図 1

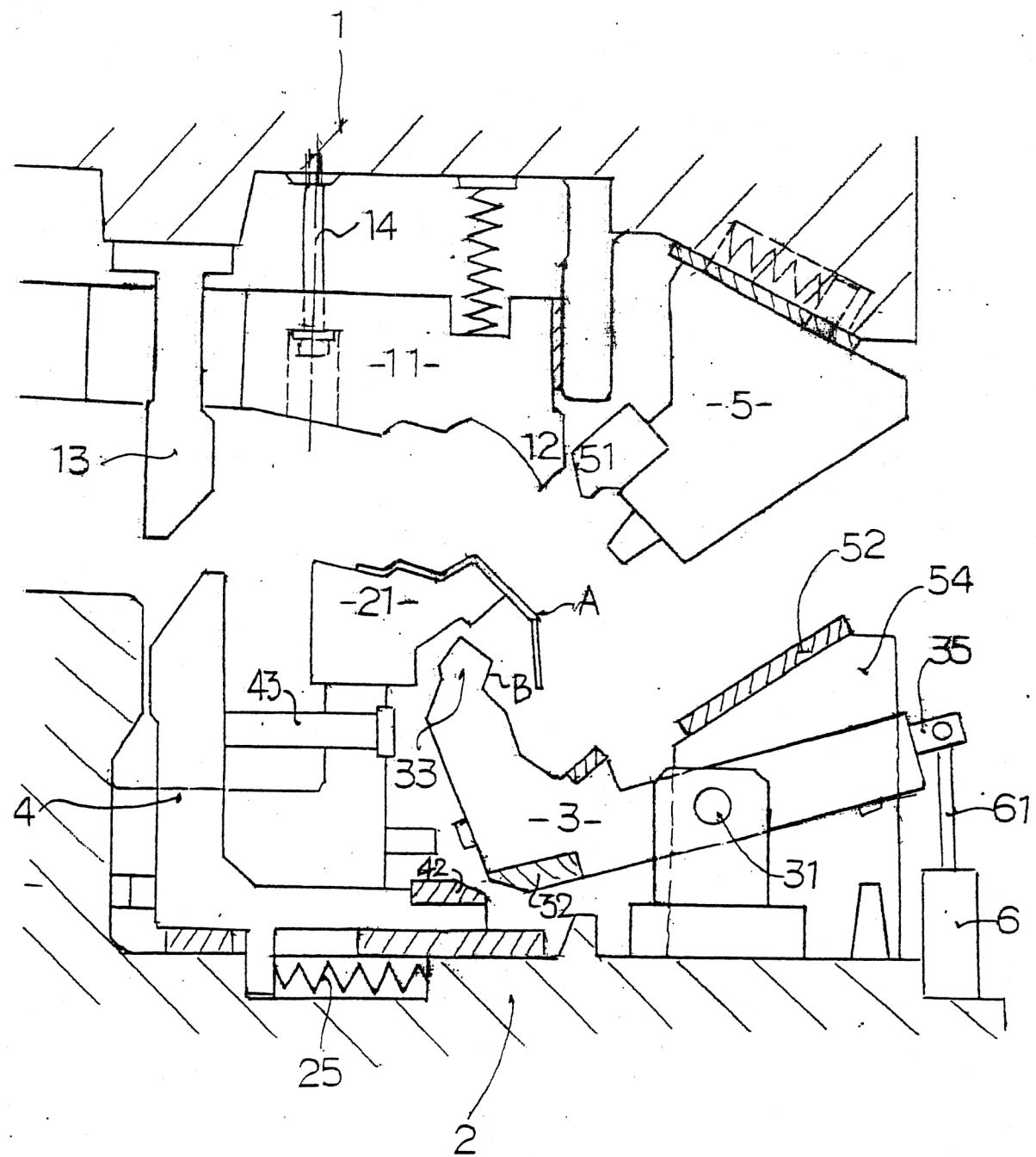


図 2

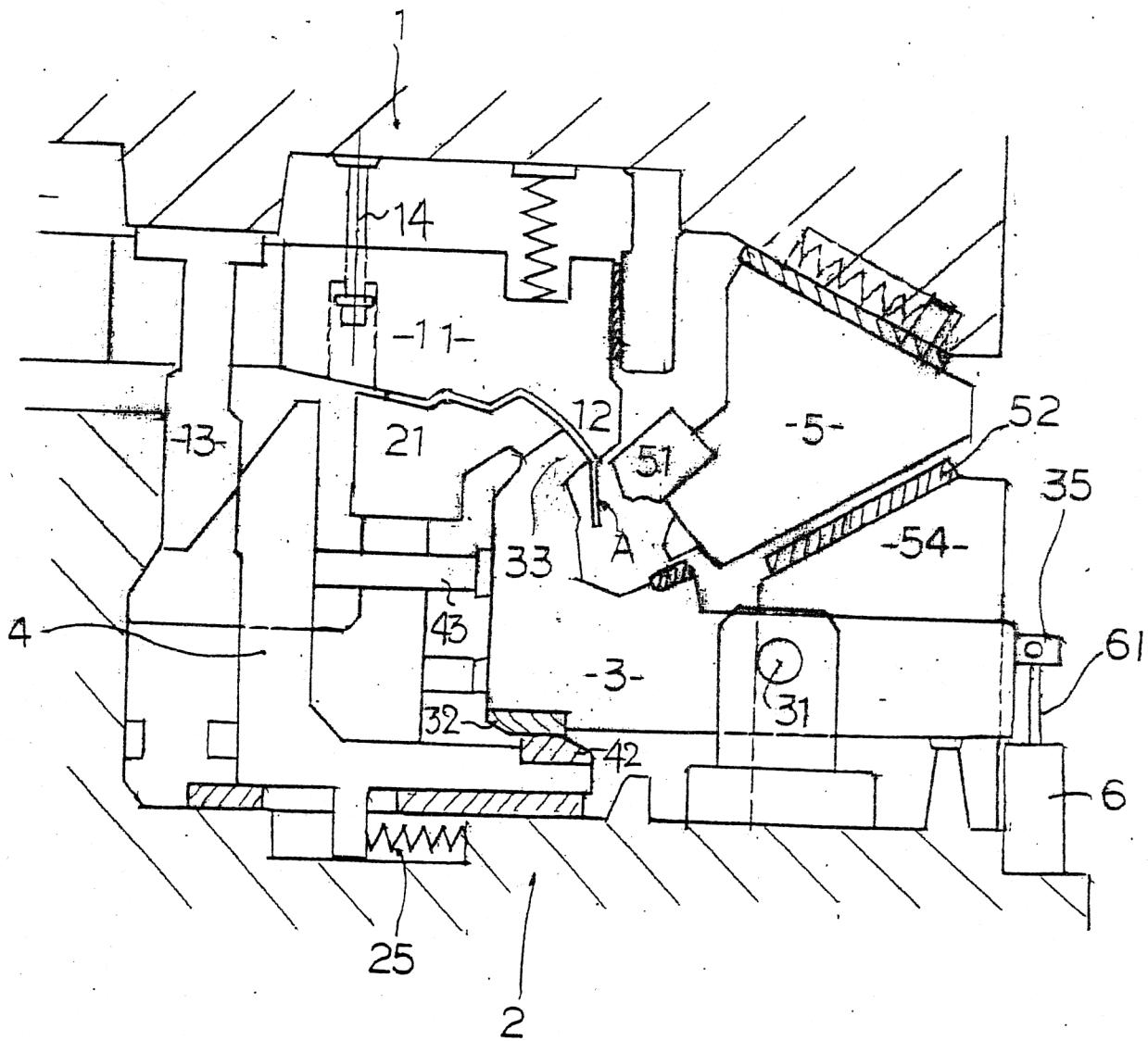


図 3

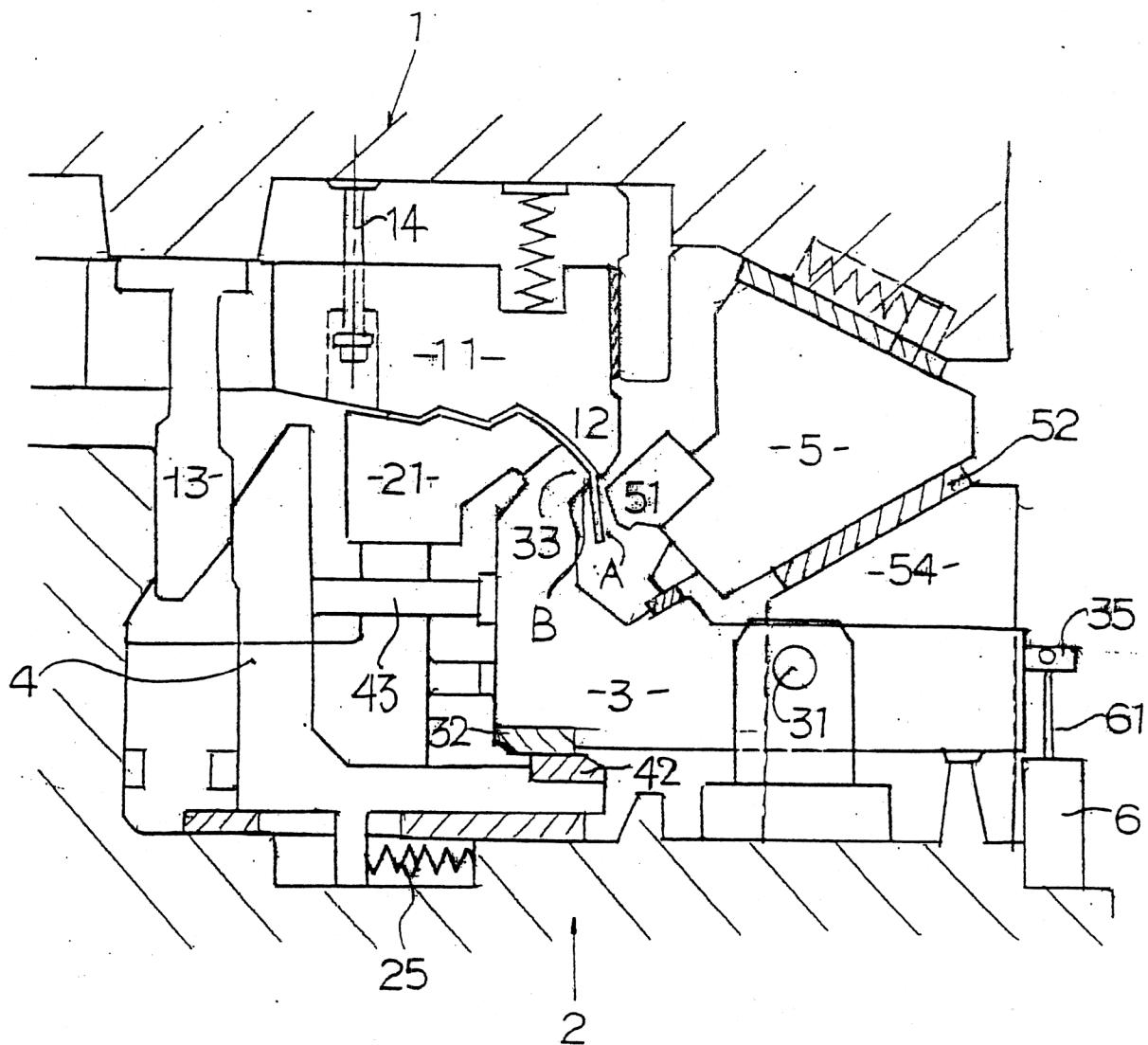


図 4

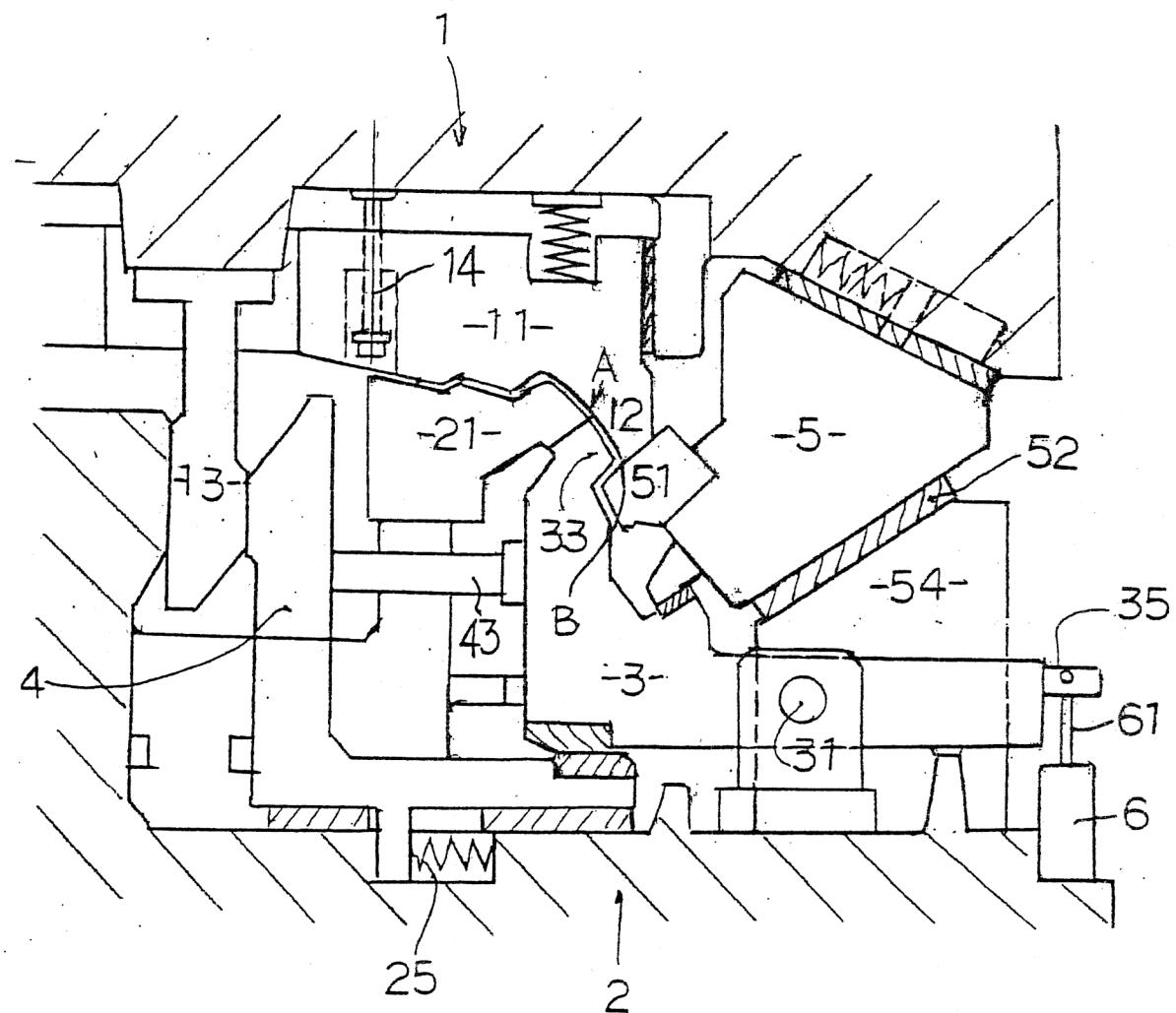


図 5

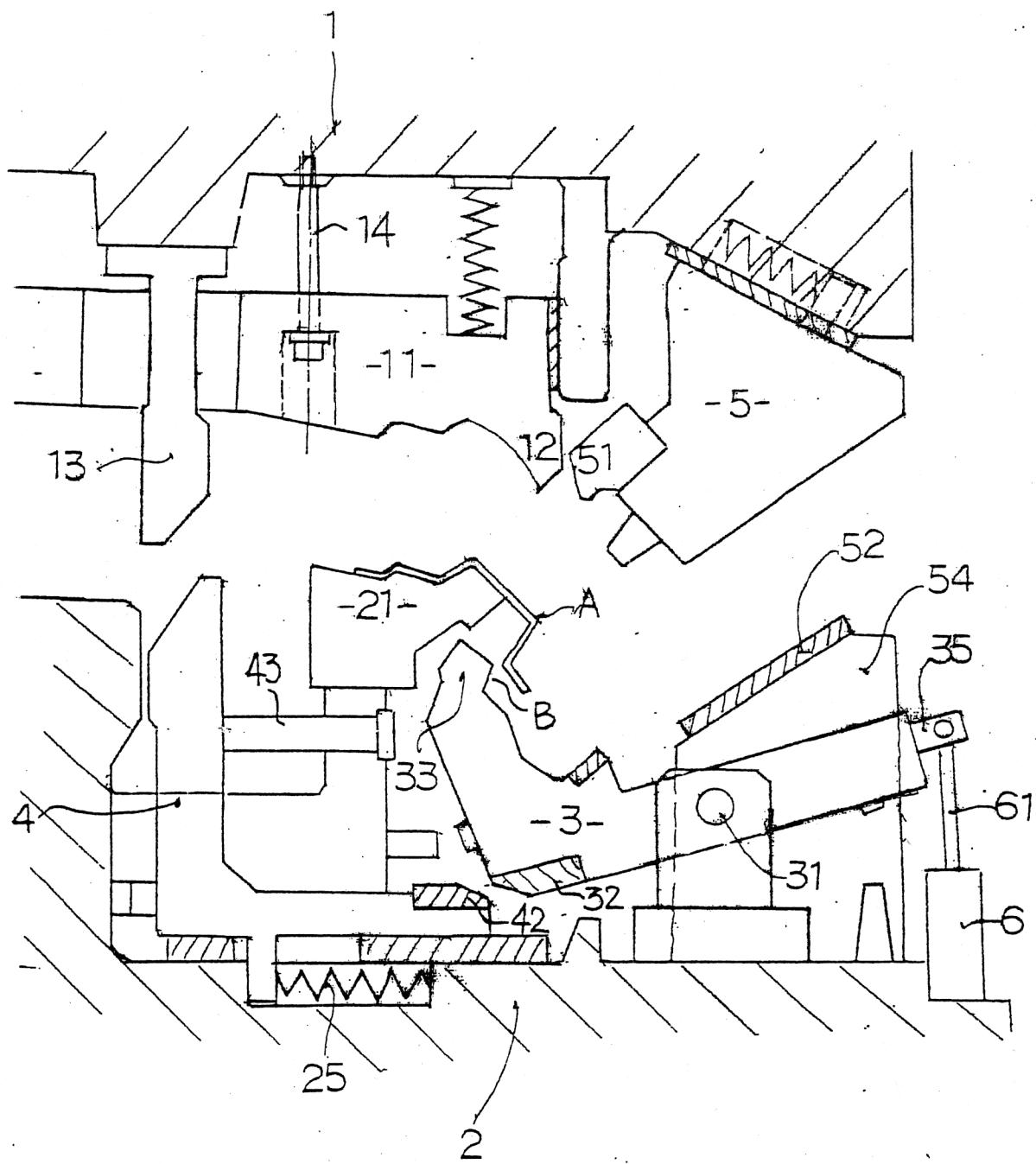


図 6

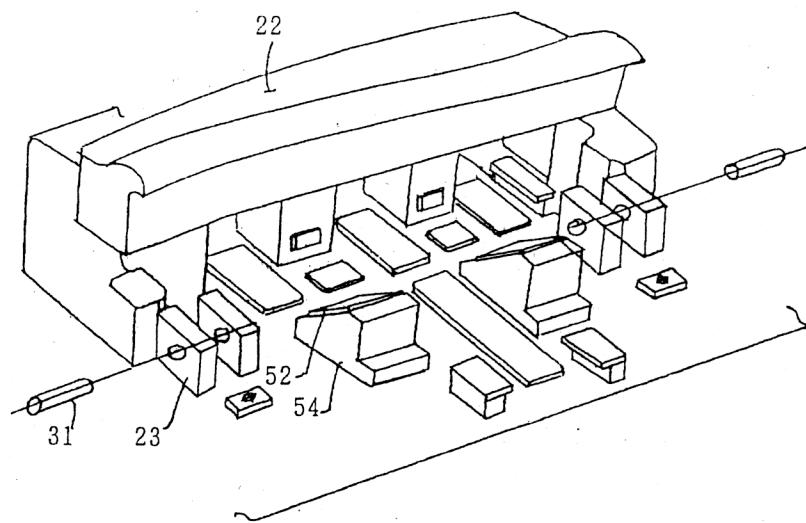


図 7

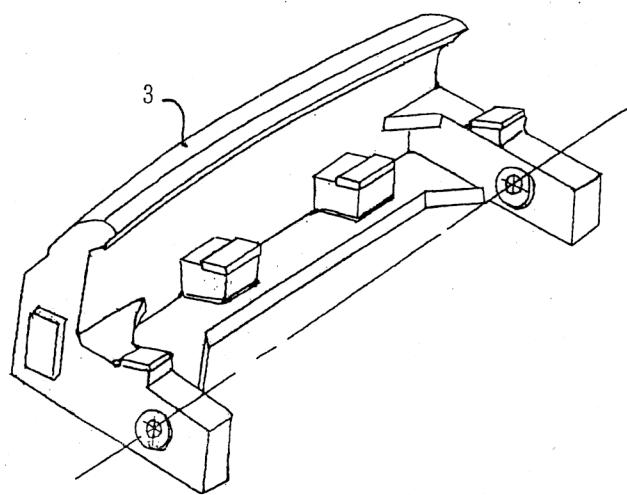


図 8

